

# Integra-Guardカラム インストラクションシート

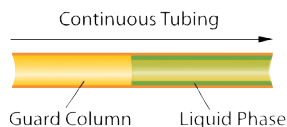
## suffix # -124, -125, -126, -127, -128, -129

このキャピラリGCカラムは、ガードカラムが一体化されています。キャピラリカラムのうち、固定相をコーティングせず不活性化処理のみを施した部分5 mまたは10 mが、ガードカラムの部分です。分析カラムと同じチューブに一体化されているため、液相コーティング部分(分析カラム)とともにブリードおよび不活性化の試験が実施されています(**Figure 1**参照)。

ガードカラムはGCシステムの注入口(inlet)側に取り付けます。開封した際に、「Guard Column End」(**Figure 2**参照)と記されたタグでガードカラム端を容易に確認できます。タグを取り外した後も、ケージのオープンピン側に結んである高温耐熱ストリングの結び目によって、Integra-Guard部分の終点と分析カラムの始点を確認することができます(**Figure 3**参照)。この高温耐熱ストリングは400 °Cを超える温度にも耐えるため、取り外さなくても大丈夫です。

ガードカラムの一部が汚染された場合は、その部分をカットすることが可能です。通常、注入口側から30~50 cmをカットすることで、カラムの性能は許容できる程度まで回復します。最終的にガードカラム全体をカットしても使用可能です。[Universal Press-Tightコネクタ](#)、[SilTite μ-Unionコネクタ](#)、[Defined PressFitコネクタ](#)、または[Vu2 Unionコネクタ](#)を使用して新しいガードカラムを取り付けることができるからです。ガードカラムやコネクターのラインナップは弊社HPで確認してください。

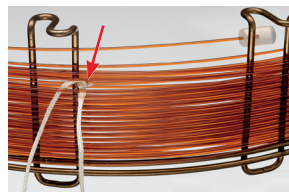
**Figure 1:** Integra-Guardカラムは、ガードカラムと分析カラムを同一チューブに一体化した構造であるため、接続部なしで分析カラムの保護が可能です。



**Figure 2:** Integra-Guardカラムのガードカラム端には、識別しやすいようにタグが付いています。



**Figure 3:** 高温耐熱ストリングが、Integra-Guard部分の終点と分析カラムの始点を示しています。



本製品やその他のRestek製品に関するお問い合わせは、Restekまたはお近くのRestek販売代理店までご連絡ください。([www.restek.com/contact-us](http://www.restek.com/contact-us))

Restekの特許および商標はRestek Corporationに帰属します(全リストは[www.restek.com/Patents-Trademarks](http://www.restek.com/Patents-Trademarks)をご覧ください)。Restekの資料またはウェブサイトに記載されているその他の商標は、各種利者に帰属します。Restekの登録商標は米国において登録されており、他国においても登録されている場合があります。

© 2019 Restek Corporation. All rights reserved. Printed in the U.S.A.

[www.restek.com](http://www.restek.com)

#100-00-001JA

更新: 04/26



**RESTEK**  
Pure Chromatography